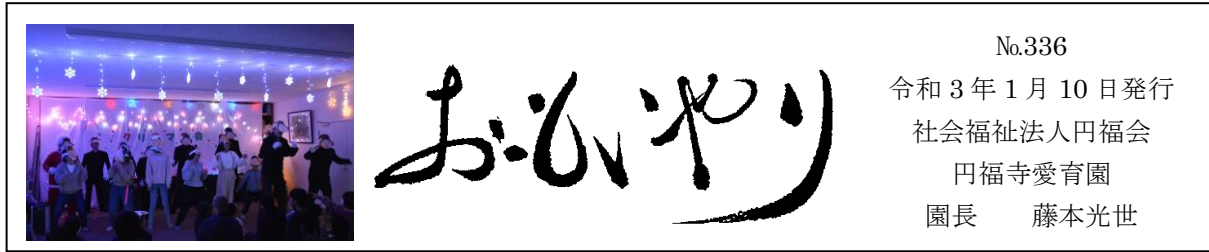


あけましておめでとうございます。今年も元気に過ごして参ります。



一年を振り返って

園長 藤本光世

この一年は、なんといってもコロナの感染防止に努めた一年でした。職員にも、子どもたちにも万一コロナの感染が起きたら、円福寺愛育園がどのようになるかを話して、危機感を持續してもらいました。社会福祉協議会が発行している雑誌に、ある施設がクラスターになった時の経験が書かれていました。とっても参考になり、増し刷りして職員に読んでもらいました。子どもたちにも話しました。感染防止に最大の注意をはらうことは今後も変わりません。常に危機感をもち続けたいと思います。

3月の卒園祝いディナーから、行事はすべて園内行事にしました。卒園式、キャンプ、運動会、愛育園祭。すべて園内行事になりましたが、子どもたちは集団の良さと力を大いに発揮して、どれも素晴らしいものになりました。中舎制園舎の集団生活が幸いしました。大いに楽しみ、喜び、心を満たしました。それは、翌日からの園の生活に生きました。集団生活は素晴らしいです。これまで愛育園が培ってきた行事の力は素晴らしいです。

学校が臨時休業になった、4,5月は愛育園ならではの、愛育園学校ができました。子どもたちは、午前から午後にかけて3時間の授業をして、そのあとは自然探求や家庭科の課外学習、実習学習をしました。その活動は夏休みの研究のように厚紙にまとめて、学校が再開された休日に発表会を行いました。この子が、こんなにも立派な発表をしてくれたと、驚くほどでした。活動が楽しく思い入れがあるので、子どもたちもそれを発表に発揮するのですね。立派でした。それは10月の西横田区文化祭に展示して、地域の皆さまに見てもらいました。第三者評価の評価者にも見てもらい、大いに褒められました。大学の研究発表のようですねと言われました。この子は、学校の成績はこんななんですよと話す、こんないい発表を学校の先生にも見てもらって、自信を持たせましようと言っていただきました。嬉しかったです。

4月から、反社会的な問題行動が皆無であったことも、特筆すべきことと思います。全員が皆勤で学校に通っています。幼稚園に通っています。昼間は34人の子どもたちは一人も残っていません。職員は全員が健康で仕事をしてくれています。当たり前のことのように思うかもしれませんが、

本当に幸せなことと思います。

そして、年度途中の退職者が一人もいません。これも、とっても嬉しいことです。職員が子どもたちと全力でかかわってくれています。行事を全力で創ってくれます。運動会の総練習に今まで使っていた河川敷グラウンドが、昨年の台風19号の大水で使えなくなり、一面に覆った泥の上に、硬くて背の高い草がびっしりと生えていたのを、何日もかかってビーターで草を刈り、約200メートルのトラックを作ってくれたことが、すべてを物語っています。すごいことと思いました。子どもたちのために働くことを惜しまない職員に敬意と喝采を送りたいです。

全ての行事は、このような職員の献身により、子どもたちの力を引き出し、子どもたちの心を満たしました。素晴らしいです。

「おもいやり」に運動会の閉会式である高校生の男の子が泣いていたことを書きました。この子は、全力で頑張る経験をしたのです。心を開放して頑張った。それが嬉しく感動したと思い、こういう経験をたくさんしようねと話しました。

この子の養育について、ホーム長に教えていただきました。

私は、高校生になれば進路のことを考え、学習に力を入れるもんだと思い、卒園が間近なのだから、夢を具体的に描かせそれに向けて、毎日の過ごし方を対話して、高校生活に学習に意欲を持って取り組むように仕向けなければならないと思っていました。昔、女子高校生が1階で過ごす幼児さんや小学生とかかわるのは、高校生の心のレベルが落ちて、本来であれば、進路を考えなければならない時期に、幼児さんと遊んで心のいやしにしていると聞いたことがありました。自立につながらないと。

この子は、少年野球に行きたがると聞きました。ほかの高校生男子も行きたがると言います。高校生にもなって、少年野球で小学生と一緒にやっているなんてものほかだ。もっと高校生らしいやることがあるでしょうと職員を叱りました。

ところが、しばらくしてこの子の高校での生活がおかしくなったのです。気が付くと、他の高校生の男の子もなんとなく沈んでいるように見えました。ホーム長に教えられました。この子は、まだ高校で仲間とかかわれるだけの力を持っていない。だから高校で心の居場所がないのですよ。愛育園で心の居場所を作ってあげましょう。少年野球で小学生と一緒にやっても、片付けなども一生懸命やってくれます。それで、心が安定するのです。

その話を聴いて、私は間違っていたと思いました。愛育園の中に心の居場所を作ってあげる。このことによって子どもの心が安定して、高校生活が良くなる。少年野球に行ってもいいよと方針転換です。少年野球に参加し、愛育園の行事にこの子の場を作り、取り組むようになって、本当にこの子の心が安定したのです。学校の行動も安定しました。嬉しかったです。なるほど、ホーム長の言うことは本当だと思いました。行事で職員と子どもがかかわる。子どもが発表の場を与えられる。そこに対話がある。みんなに見てもらえる。すると子どもの心が満たされる。安定する。さすが、

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

現場を任されているホーム長です。たくさんの苦勞をのりこえて、立派な指導員になってくれました。職員がこのように私と対話をしてくれることが嬉しいです。イエスマンではだめです。いい対話は時間のたつのを忘れます。こんなふうにして、ジグズデン・ザグズデンと転んだり起きたりして、愛育園の養育は進化するのです。養育力が上がりました。

毎朝、6時より少し前に愛育園に行き、談話室のお地藏さまを背にして坐って、子どもたちが入ってくるのを待ちます。早い子は私より早く来ています。みんな「おはようございます」と大きなあいさつをして入ってきます。幼児さんは坐っている私に飛びついてきます。背中に乗ってきます。34人の全員がそろい、般若心経の声が談話室に大きく響きます。とっても大きいです。大きな声を出せる子は、生活もできています。そのような子がほとんどになったのです。おまいりの後でお話をします。そのあと、談話室を出て「はきもの」碑の前に全員が並んで、「はきものをそろえる」を唱和します。大きな声です。食堂に入ります。食堂の席について、子どもたちを見渡します。34人全員がいます。職員がその中にいます。当たり前なのですが、なんと幸せなことでしょう。みんな、明るく談笑しながら、食事をしています。食事が終わると、職員のところ子どもたちが駆け寄ります。ある子は、膝の上に乗る、ある子はおんぶし、ある子は横から肩を抱いて、職員と子どもが密着してスキンシップで交流しています。その姿は、とっても微笑ましく、嬉しいです。子どもは安心しているのです。心が安定しているのです。笑顔がいっぱいです。安心してこそ心を開いて、職員の言葉が中に入ります。

この子らに幸いあれ。

この職員たちに幸いあれ。

円福寺愛育園に幸いあれ。

新年のご挨拶

主任保育士 石崎早織

新年あけましておめでとうございます。昨年も多くの皆様に支えられ、子どもたちも元気いっぱい過ごすことができましたこと、感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響により、子どもたちの学校が約一か月ほど休校となりました。長期休みよりも長いお休みになってしまったため、愛育園特別日課を決め、子どもたちにはいつもと変わらない規則正しい生活が送れるようにしました。その日課の中で午後にはおやつ作りをしたり、裁縫をしたり、普段なかなかできない活動を行い、子ども達と楽しい時間を過ごすことができました。早く学校が始まってほしいと思う反面、子ども達とたくさんの時間を過ごすことができ、とても良い時間になったのも確かでした。今までは学校へ行ったり、外へ遊びに行ったりすることはとても当たり前のことだと思っていましたが、新型コロナウイルスによって、当たり前がどれほ

(令和3年1月10日発行 月刊「円福」484号付録)

ど幸せかを感じる年にもなりました。

今年は私の担当児童が1名卒園を迎えます。彼女は愛育園で15年間生活してきました。まだ卒園までに3か月はありますが、今から愛育園を離れる寂しさや、新たなスタートを切るにあたり、楽しい気持ちと不安な気持ちがあるようです。彼女が胸を張って円福寺愛育園を卒園できるよう、最後までしっかりサポートしていきたいと思います。又受験生も2名いますので、ホームの先生方と協力し、子どもたちにとって良い方向に進めるよう支援をしていきたいです。

今年も何事にも一生懸命取り組み、子どもたちの力になれるよう頑張っていきたいと思います。今年も一年よろしくお願い致します。

新年のご挨拶

主任指導員 富沢正樹

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナウィルスの影響から大変な思いをされている方が多くいらっしゃる中であって、愛育園の養育をご支援いただけている事に深く感謝を申し上げます。本年も何卒、よろしくお願い申し上げます。

さて、2021年が始まりました。昨年を振り返った時に、まず一番に思う事は、「日課」と「行事」が本当の意味で、良い循環を始めた。という事です。子供たちはとても落ち着いて毎日を過ごしています。先月はクリスマス会があり、みんながお腹を抱えて笑い、とても楽しんでいる姿があったのですが、昨年一年間、どの行事もそんな感じでした。ふと思う事は、毎回毎回どんな行事も大きく盛り上がり、子供たちの心が満たされ、自信につながるモノにできているのは、そもそも日々の生活が安定しているからこそだなあ。という事です。それ以前の子供たちの様子が安定していない時の行事は、何とか行事に目を向けさせて(そらさせて)、悪い方向にいかないようにと、どこか苦しい気持ちで行事を計画していました。今は、ただただ、頑張っている子供たちを、もっと満たしてあげたい。もっと力をつけてあげたい。という気持ちから行事の計画がスタートし、私自身の心持がいつの間にか変わっている事に気づいた一年でもありました。

文章ではなかなか表しにくいのですが、今の愛育園の行事は、その瞬間の時間と空間が本当にいい雰囲気になります。あえて表現するなら、純粹という言葉が一番ピッタリ当てはまる気がします。

私たちは日頃から、日常の挨拶やお参り、勉強も遊びも、理屈ではなく、ただ目の前にある事をひたむきに取り組ませたい。という思いで子供たちに関わっています。そういう関わりが子ども達をピュアにしていくし、迷いも消えていくのだと思っています。だから、行事もなんのウラもなく楽しめるし、その後の生活にも生きるようになってきたのだと思います。

良い循環。これを感じる事が、昨年一年間に何度もありました。今年一年はそんな循環を更にパワーアップさせていきたいと思います。

私は、この次には、自分自身に対して誇りを持てる子が増えてほしいと思っています。勉強でも

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

運動でも、こんなに純粋に頑張れるのは本当に素晴らしい事です。でも、まだちょっとした事で揺さぶられてしまいます。自信を持っていいのに遠慮がちになってしまいます。そういう様子や場面を見ると、私は悔しいと思ってしまいます。だから以前から園の児童に核になるものを作ってあげたいと思っていました。それがプライドや誇りだと思えます。自分の存在が誰か人の役に立っている。そんな人になる。子供たちにそういう心が芽生えてくるような一年にしたいです。

これは今の愛育園や子ども達の様子だからこそ取り組んでいける事だと思います。私自身も絶対子ども達に自信をつけてあげるんだ。というプライドを持って今年一年頑張っていきたいと思っていますので、どうか本年もよろしく願いいたします

新年のご挨拶

調理主任 伊藤慈子

新年あけましておめでとうございます。

昨年中も多くの方々に、ご支援を頂きありがとうございました。たくさんの方々に、様々な旬の食材を頂き、それらを使用することでメニューを充実させることができました。ありがとうございました。

昨年は、コロナウイルスの影響で、いつもなら当たり前に出ることがたくさん制限されてしまい、とても窮屈な思いをした子供達です。学校も休校になり、外出も制限され、消毒・手洗いの毎日でした。それが今現在も続いています。そんな中、愛育園では職員全員で、いかに子供達が退屈せず、コロナにも負けずに楽しく過ごせるかを考え、試行錯誤してきました。休校でも日課をしっかり過ごし、学校の授業のような時間割にし、学習に力を入れ、家庭科として裁縫や調理実習、また実験を兼ねたおやつ作りなどをしました。いつもは食事にしか使わない食堂も『家庭科の教室』になりました。私たち調理は、『調理実習』のサポートをしました。ホーム毎、職員みんなで様々な計画を立て実行していました。様々な活動の中、そのことについて子ども達それぞれがまとめ、研究発表会もしていました。みんなの活動力がすごい！と、感心していました。子供達は消毒・手洗いを徹底し、コロナに負けず、たくましく過ごしていました。

コロナウイルスに対抗するためには、規則正しい生活です。早寝早起きを心掛けしっかり睡眠をとり、バランスの良い食事、よく笑いよく体を動かすことが大切です。私たち調理は、その食事の面をしっかり担い、栄養が豊富な旬の食材を多く取り入れたメニュー、子供達が喜ぶ、美味しく元気になる食事作りを心掛けています。そして普段にも増して厨房の衛生管理の徹底・食堂の喚起と消毒はもちろんのこと、朝食時と夕食時に消毒液を作り各ホームに渡し、食事後ホームに戻って消毒をしてもらっています。

まだまだ続くコロナウイルス警戒のために、制限されることが多い中、少しでも食事やおやつで満たされることを願い、子供達の笑顔と健康のために食事作りに励んでいきたいと思っています。

(令和3年1月10日発行 月刊「円福」484号付録)

本年も宜しく願い致します。

クリスマス会



まごころホーム 竹内早季

19日(土)にクリスマス会が行われました。毎年子ども達も楽しみにしており、会話の中でもクリスマス会のことが聞かれていました。子ども達もクリスマス会の飾りつけ作りを積極的にやってくれて本当に楽しみにしているんだなあと改めて感じました。今回まごころ職員で、グラスに水を入れて縁を叩いて音を鳴らし、曲の演奏を披露しました。短い練習期間でしたが、ホーム職員で協力して平日の昼間に集まって練習をしてきました。なかなかいい音階が鳴らせるグラスがなく、音作りに苦労しましたが、なんとか完成させ、子ども達に発表することができました。私自身当日は発表の進行も担当して、かなり緊張してしまいましたが、サポートしていただいてなんとか発表を終えることができました。あおぞらホームのダンスやクイズなど子ども達が終始笑って、時には歌を自然に歌っている姿がとても印象的でした。最後まで和やかな雰囲気です。



クリスマス会



あおぞらホーム 金井雄大

12月19日、愛育園のクリスマス会がありました。クリスマス会には中高生や職員が、幼児さんや小学生の為に様々な出し物を準備してきました。本番では、まごころの職員による、グラスの演奏や、あおぞら中高生と職員のサザエさんダンスなど行いました。子ども達はとっても笑っており、笑いすぎて泣いている子もいました。その後は、職員

の鼻歌イントロクイズやロシアンルーレット等子ども達を巻き込んで行い、ロシアンルーレットではまごころの子の演技力に驚かされる一面もありました。最後には踊りたい子と一緒にサザエさんダンスをして、とっても楽しいクリスマス会でした。



クリスマス会 児童感想 あおぞらホーム

きょうクリスマス会がありました。さいしょは、サンタサンがきました。つぎに、ジングルベルをうたいました。かんたんでした。つぎに、まごころのせんせいたちが、えんそうをしてくれました。サザエさんダンスもありました。いちばんおもしろかったのが大山せんせいでした。おしまいです。



(小1・Y君)

まずはじめにサンタさんが来てくれました。そのつぎに、まごころのえんそうをしてくれました。カラフルの色で、鬼滅の刀をえんそうしてくれました。とてもきれいでした。つぎにサザエさんダンスをしてくれました。とてもおもしろかったです。つぎはロシアンルーレットをしてくれました。まず

ルールは5人で辛いのをだれか一人だけ食べている人をあてるゲームです。みんなにだまされました。くやしかったです。そのつぎは、歌クイズをしました。ルールは、先生はイヤフォンをつけて、鼻歌をやってあてるゲームです。それでとてもむずかしかったけど1こあてました。それはマリーゴールドをあてました。それで、サンタさんに、なみへいさんのかめんをもらいました。とてもうれしかったです。そして、クリスマス会が終わって、食堂でケーキを食べました。とてもおいしかったです。楽しかったです。また来年もやりたいです。



(小5・K君)

今日、クリスマス会がありました。さいしょサンタサンがきて魔法をかけるところがおもしろかったです。グラスできめつの刃の曲をえんそうしてるのがすごかったです。サザエサンの踊りがすごくおもしろかったです。さいごに食どうにあってケーキがおいしかったです。

(小4・M君)

クリスマス会 児童感想 まごころホーム

12月19日にクリスマス会がありました。夕食の後に図書館で行いました。

富澤先生が司会をしてくれていて最初はスペシャルゲストのサンタサンが来てくれました。そして皆でジングルベルを歌いました。

次は、まごころの先生たちがガラスコップで演奏をしてくれました。最初は、中村先生と加藤先生

が鬼滅の刃の紅蓮華をひいてくれました。次に先生たちがクリスマスソングをひいてくれました。とても音色がきれいでした。

次は、サンタサンの友達が数人来てくれました。そしてとてもおもしろいダンスをしてくれました。とてもおもしろかったし同じ人がいっぱいいて少し怖かったです。だけどそのダンスは最後のしめでやりたい人はおどりました。ダンスの後は、あおぞらの石龍先生と山田先生がイントロクイズをしてくれました。ただのイントロクイズではありませんでした。石龍先生がその曲を鼻歌で歌ったのを私たちがあてるというゲーム



でした。クイズの後には、ロシアンルーレットみたいなゲームをしました。ルールは5人のうちだれが辛いのを食べているかあてるというルールです。最初は、あおぞらのN君H君畔上先生金井先生倉島先生でした。辛いのを食べたのは、畔上先生でした。次はすっぱいのを食べたのはだれというのをやりました。これはまごころの5人がやりました。YちゃんとMちゃんとRちゃんとAちゃんと私が挑戦しました。すっぱいのを食べたのは私でした。とてもすっぱかったです。次は、苦いお茶を飲んだのはだれかあてるゲームをしました。それにはあおぞらの5人が挑戦していました。

とても楽しいクリスマス会でした。

(中1・Mさん)

19日の夕食後、クリスマス会がありました。

園にはいい子がいっぱいいるのでスペシャルゲストとしてサンタが来てくれました。

サンタと富澤先生の司会で石龍先生の歌声によるイントロクイズがありました。かなり難しく分からないものがほとんどでしたが、楽しかったので良かったです。

さらに盛り上げるために、ロシアンルーレットをやりました。あおぞらの先生4人がとても辛いシュークリームを食べ、辛くないふりをしている人を当てるゲームをやりました。畔上先生が当たったのですが、分かりやすかったです。次はまごころの子5人によるゲームでした。酸っぱいシュークリームをみんな酸っぱいふりをしますが、当てるのが難しかったです。最後は、あおぞら中高生が苦いジュースを飲みました。M君がとても苦そうにしていたので、多くの人はM君だと思ったのですが、答え合わせで皆、苦いと感じないハプニングが起きました。

最後は、あおぞらの選ばれたサンタの友人がサザエさんの曲のダンスをして、笑いが止まりませんでした。

どれも楽しかったですが、特に最初のまごころの先生の演奏が感動しました。

来年もきっと、楽しいクリスマス会になると思うので、それまで園の生活をしっかりしたいです。

(高2・Aさん)

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

19日にクリスマス会を行いました。今年はどんなものになるのかずっと楽しみにしていました。クリスマス会で一番楽しかったのはロシアンルーレット的なもので、シュークリームを食べたことです。酸っぱいシュークリームを食べたフリをして演技しました。私はすっごく美味しいシュークリームで、演技するのが難しかったです。でも、楽しくできて良かったです。

また、クリスマス会を園で迎えるのも最後になりました。来年は楽しい事も無いのかと考えるとすごくさみしい気持ちになります。クリスマス会を計画してくれた先生方や皆を盛り上げようと頑張ってくれた中高生の男の子に感謝して次の行事に繋げていきたいです。楽しかったです。ありがとうございました！！

(高3・Yさん)

#### 年末大掃除

あおぞらホーム 山田忍

12月19日、毎年恒例の年末大掃除がありました、この日は雪こそ降らなかったですがとても寒い中みんな力を合わせて掃除に取り組んでいました。夜にはクリスマス会を予定していた為掃除は午前中で終わらせ午後はクリスマス会の準備に充てよう、と言うことでスタートしました。まず始めに各部屋の掃除です、自分は小学生の部屋と一緒に片付けていました、そこは三人部屋でしたが各々掃除にも個性がでていました、物がきっちり整理されていないと納得しない子や結構適当にやって終わったような顔をしている子、どれが捨てて良いものなのかが分からない子などその都度一緒にやりながらきれいにすることが出来ました。自分たちの部屋が終わると次はホーム全体の掃除になります。トイレ掃除、窓ふきなど

みんなとても積極的に取り組んでいました。一つ一つ終わるごとに「次はなにをやればいいのか？」とみんな聞いてきてくれてこちらの指示も追いつかないくらいにみんなよくやってくれました。最後の仕上げは終わった人から体育館の掃除に取り掛かりました。

体育館の窓ふきをみんなでやり、その後ステージの雑巾がけをする人、ベランダを掃除する人、窓の外側を拭く人と手分けしながら、そしてお昼を食べ終わったあと全員で床の雑巾がけをして体育館の掃除は終わりました。

みんなのおかげで一年の汚れがきれいになって新しい年を迎えることが出来そうです。

ただ、少し心配なのはせっかくきれいにした各部屋など、きれいなままの状態がどこまで保てるかが気がりではありません。

(令和3年1月10日発行 月刊「円福」484号付録)

#### イルミネーション点灯式



あおぞらホーム 石龍成己

今年もイルミネーションの装飾を行いました。前回は児童棟玄関をメインに目立つようにしましたが、新たにオブジェを作り、管理棟の庭の装飾に力を入れました。棒を組み合わせて、身長よりも高いオブジェを作り、イルミネーションを施しました。点灯式では、あおぞら中高生達に声を掛け、一斉に電源をつけてもらいました。幼児さんをはじめ、多くの子が喜んでくれ、記念写真を撮っていました。アーチの装飾は、夕食時に子ども達が食堂へ向かう際に通るので、毎回食事に行くのを楽しんでくれるかなと思います。点灯はクリスマスまで行われます。

#### 箸ピー練習

まごころホーム 加藤ゆかり

今年度も、1月23日に第11回箸ピー大会の開催が予定されており、早速12月12日から箸ピー練習を始めています。園の子ども達は箸ピーが大好きで、練習をとても楽しみにしており、積極的に取り組んでいます。感覚を取り戻すのもとても早く、どんどん記録を更新しています。初めて箸ピーをやる子も多いですが、他の子に負けじと一生懸命練習しています。本番までにどれくらいの高記録が出るか、今からとても楽しみです。

行事に参加出来るのは当たり前ではなく、日々の園の生活・学校の生活を頑張っているからこそ、楽しい行事に参加出来るのだと、子ども達には伝えていきます。記録を伸ばすこと考えるのも大切ですが、日々の生活が行事に反映されること、また行事が日々の生活のハリになることを子ども達には分かってもらいたいな、と思います。

職員も子ども達と少しでも張り合えるように、当日までみんなで一緒に練習に取り組んでいきたいと思っています。

あおぞらホームだより



あおぞらホーム 石龍成己

12月に入り寒気が打ち寄せ、小雪もぱらつくようになってきました。外はとても寒い日が続きますが、今月もあおぞらホームの子たちは元気に過ごしました。箸ピー練習も始まり1個でも多く記録を伸ばそうと頑張る姿勢も見れましたが、中高生に限って言えば、クリスマス会の発表練習を頑張りました。初め2人程しか集まらず、去年も恥ずかしかったから

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

嫌だという子もいましたが、練習をするにつれて、みんなやる気になっていき、そして、発表の企画者の山田 t が加わると「山田 t にセンターやってもらいたい！」と、全員満場一致で言ってくれたり、我々で笑いがとれなかったら誰がとるという気持ちで時間を忘れるぐらい一体感を持って練習しました。発表もとても盛り上がりましたが、それ以上に最初は恥ずかしがっていたN君が「今日から練習もうないんだね、なんか寂しいな」と言っていて、そんな言葉が出ると思っていなかったもので、一生懸命練習して良かったなと感じました。また、今年度からあおぞらホームに加わった子たちも多いので、クリスマス会を始める前にどういう気持ちか聞いていて、あまり興味がわかない子たちも多くいましたが、始まってみれば終始笑顔で、ゲームにも積極的に参加したり、最後の茶話会ではとても嬉しそうにケーキを食べていて、とても微笑ましいなと感じました。園の長い子たちは、園の行事を楽しみにする反面、自分たちの生活もしっかりしないと頑張ってくれます。ここ数年で入所の子が増えましたが、その子たちにも行事を通して良い影響を与えられるよう、子どもだけで、職員だけとかにならないよう、今後も一緒に取り組めていけたらと思います。

まごころホーム日より



まごころホーム 宮澤穂香

12月は、イルミネーション点灯や、クリスマスなど、子供たちにとってとても楽しい月です。サンタさんから手紙をもらい、今年はどんなプレゼントをお願いしようかとみんなワクワクした気持ちで考えていました。幼児さんは、「何回寝たらサンタさんくるの?」と聞いてきます。早く来ないかと待ち遠しいようです。

また、今月は、二学期のまとめの月でもありました。各学校では懇談会があり、日頃子ども達が学校でどんなことに挑戦しているのか、愛育園では見えない姿を知る良い機会でした。学校でこんなことを頑張っているという話を聞くと、とても嬉しくなります。また、子ども達の苦手な勉強の部分など、冬休みをつかって一緒に復習していきたいと思います。

今年の冬は、例年に比べて寒くなり、雪も降ると予想されています。ですが朝起きて、外に雪が積もっていると子ども達は気分が上がるようです。体調管理に気を付けながら、今しかできないことを、一緒にしていけたらと思います。

調理室日より

栄養士兼調理員 原未華

12月に入ってから、寒さが一段と厳しくなってきました。雪が降る日もあり、去年は暖冬だ

(令和3年1月10日発行 月刊「円福」484号付録)

ったので、雪景色を見てもうすぐで1年が終わり、新しい年を迎えるのだと改めて実感しました。

12月もたくさんの行事がありました。12月4日初代園長先生御命日メニュー。お赤飯、天ぷら、豆腐とわかめのすまし汁、漬物、デザートに園長先生より、児童と職員全員にシュークリームを頂きました。

12月5日午後にクリスマスクッキー作りをしました。子ども達にクッキーをたくさん作ってもらい、食堂に設置したクリスマスツリーに飾ってもらいました。愛育園ならではの素敵なクリスマスツリーが完成しました。夕食はK君の誕生日メニュー。ハヤシライス、サーモンフライ、スイートサラダ、チョコレートケーキでした。

12月12日Aさん誕生日メニュー。オムライス、エビフライ、シーザーサラダ、チーズタルト。初めての誕生日メニューだったのですが、喜んでもらえてよかったです。

12月19日は大掃除&クリスマス会。日中は全員で大掃除をして夜はクリスマス会でした。先生方が楽しいこと、おもしろいことをたくさん考えてくださって、子ども達も一生懸命練習して、本番では見ている側も大笑いして、驚いたところもありました。クリスマス会が終わった後は、全員で千広建設様から頂いたケーキを食べました。大盛り上がりした楽しい1日でした。

今年は大変な年でした。学校行事も縮小されて、子ども達も我慢しなければならないことも多かったと思います。できることをやることでこのご時世でも多くの思い出が残ったと思います。

令和3年度はどのような年になるか分かりませんが、誰にとってもよい年になることを願い、大切な1年にしていきたいです。

